

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は平成28年度日本陸上競技連盟規則および大会規定によっておこなう。

2 練習について

- (1) 練習はサブトラックを使用すること。フィールド種目は、競技場内での役員の指示により練習を認める。
- (2) サブトラックでの投擲練習は一切禁止する。

3 招集について

- (1) 選手招集場は、雨天練習場北側（100m スタート側）とする。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前とする。
ただし、棒高跳は50分前とする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - (ア) 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカードとスパイクの確認を受けること。
 - (イ) 最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する場合は、最初の種目の招集時刻までにその旨を本人が申し出て、所定の用紙（招集所）に必要事項を記入し提出する。
(その際、招集を受けられない種目は原則として代理人を出すこと)

4 競技について

- (1) レーン順、試技順はすべてプログラム記載の番号順とする。
- (2) スタートのコマンドは英語で行い1回目の不正スタートから失格とする。
- (3) 男子800m・男子110mH・男子400mH・女子200m・女子400m・女子800m・女子100mHはタイムレースにより予選を行い、上位8名を決勝進出とする。また、男子5000m・女子400mH・男女各リレー種目はタイムレース決勝とする。
- (4) リレーのオーダー用紙は第1組招集開始時刻の2時間前から1時間前までに招集場に提出すること。
- (5) バーの上げ方は次のとおりとする。
走高跳（男子）
1.40・60・75(練) 1.45-50-55-60-65-70-75-80 以後3cmずつ
(女子)
1.15・35・45(練) 1.20-25-30-35-40-45-50 以後3cmずつ
棒高跳 2.50~4m50(練) 2.60-80-3.00-3.20 以後10cmずつ
- (6) 自己のやりを使用する時は、検査を受けること。検査時刻は下記のとおりとする。
男子 第2日 9月25日 11:30~12:00 (100mゴール側用器具倉庫)
女子 第2日 9月25日 9:00~ 9:30 (")
- (7) 棒高跳用ポールは自己のものを使用すること。跳躍審判員の検査を受けること。
- (8) スパイクシューズについて
ピンの長さ 9mm以下 (走高跳・やり投は12mm以下)
本数 1本以内直径 先端が4mm以内
- (9) 三段跳の踏切板 男子11m00板 女子9m00板を使用する。
- (10) 第1位が同成績の順位決定は走高跳では2cm、棒高跳では5cmの上げ下げとする。
その時の持ち時間はその人数による。